

大会規定

- 1、試合は今年度オフィシャルソフトボールルールに準じて行う。
- 2、試合開始30分前までに、当該ベンチ付近に集合していること。
- 3、監督、選手、コーチは統一したユニホームを着用すること。
- 4、ベンチサイドは、組合せ番号の若いチームが一塁側とする。
- 5、※フィールドイングは、審判員の指示により後攻のチームより行い5分以内とする。
但し各チーム第一試合のみとする。
- 6、※バッターサークル(ベンチ)内では、投球に合わせてバットを振らないこと。
投球に合わせてなくても振らない(監督が子供に指導するように)
- 7、投手が投球姿勢(セット)に入ったときは、両チーム(応援者を含む)は、応援のための声出しや鳴り物を使用してはならない
- 8、ベースは固定ベースを採用する。
- 9、金属スパイクは禁止する。
- 10、打者及び走者は両耳のヘルメットを着用すること。
- 11、捕手は、ヘルメット、スローとガード付きマスク、プロテクター、レガースを着用すること。(競技場内での投球練習も着用の事
※捕手用ヘルメットはJSA検定マークが入っているものを着用しなければならない。
※捕手用マスクはSGマークが入っているものを着用しなければならない。
- 12、選手がコーチズボックスに入る場合はヘルメット(両耳)を着用すること。
監督・コーチがコーチズボックスに入る場合はヘルメットの着用が望ましい。
※ヘルメットは、本協会のJSA検定マークが入っているものを着用しなければならない。
- 13、オーダー表に記載のない選手は、試合に出場出来ない、(試合に出場可能な選手は全員記載しておく)
オーダー表に記載の無い者はベンチに入れない。
- 14、審判員に対する確認は監督、以外は出来ない。
- 15、メガホンの使用は監督のみとする。
- 16、☆リーグ戦 男子・女子
 - ①7回戦とし80分を経過して新しい回に入らない。
 - ②得点差コールドゲームを採用、3回15点、4回10点、5回7点差以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。
 - ③規定回数若しくは、規定時間に達して後攻のチームが勝っている場合は、後攻は行わない
 - ④規定回数若しくは、規定時間に達して同点の場合タイブレーカーで勝敗を決定する。(失点はカントしない)☆決勝トーナメント
 - ①得点差コールドゲームを採用、3回15点、4回10点、5回7点差以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。
 - ②準決勝、決勝戦、は7回戦とし80分を経過して新しい回に入らない。
 - ③規定回数若しくは規定時間に達しての同点の場合は、タイブレーカーによって勝敗を決定する。
- 17、球技場内は禁煙とする。
- 18、その他
 - (1)試合終了後のグラウンド整備は勝利チームが中心となって行なう。
 - (2)各自ゴミ袋持参し、持ち帰ること。